

2022年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	乳児保育 I		教員氏名	星 早織		
科目ナンバー	Ⅲ-6-1-5					
学年	1年		開講学期	前期		
授業形態	講義		単位数	2単位		
必修・選択	保育士必修		実務経験	保育士	12年	
テーマ	保育士に必要とされる乳児保育の知識・技能の基本を身につける					
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○	
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する				
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う				
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける				○
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う				
授業の概要	授業では各テーマに沿って現代における乳児を取り巻く環境について知り、意義や役割について理解する。そして、映像資料や事例検討により具体的な援助方法を学び、グループワークや調べ学習および取り組んだ課題のプレゼンテーションを通して、意見交流をしながら理解を深める。また、担当教員がもつ保育所保育士としての実務経験をもとに乳児保育に必要な基本姿勢について概説する。					
授業の到達目標	1.3歳未満児の発育・発達をふまえた保育について基礎的な知識を理解し、説明できる。 2.乳児保育の現状と課題への理解を深め、意義と目的を関連づけて述べることができる。 3.保育者として必要な援助の仕方、連携、配慮について理解し、他者と意見交流ができる。					
テキスト	「改訂 乳児保育の基本」阿部和子編 萌文書林					
参考書	「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定子ども園教育・保育要領」フレーベル館					
ポートフォリオ	なし					
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を対話を通じて授業内で明確にする				○	
	リアクションペーパーを用いて、授業内での疑問等を対話形式にて対応する				○	
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				○	
	ICT(Googleclassroom含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				○	
	その他： 状況に応じて、対面授業とオンライン授業(ハイブリッド型・オンデマンド型・自己学習型)を併せて行う。				○	
成績評価方法	区分	割合(%)	内容			
	定期試験	50	筆記試験 50%			
	授業内課題参加度 出席態度等	50	授業内提出課題及び授業態度と意欲 50% (授業内容により、衛生、安全に配慮した服装や、身だしなみを指示する。怠った場合は衛生、安全の観点から授業への出席が認められない場合がある。)			
	その他					

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	授業の概要と評価方法の確認 乳児保育の理念と意義(乳児保育の目的と役割)	
	授業外学習	<予習>シラバスを読む <復習>提示された課題に取り組む	210分
第2回	テーマ 内容	乳児保育の基本(乳児保育の歴史、乳児保育の現状と課題、法律、保育所保育指針など)	
	授業外指示	<予習>教科書を読み、重要事項に下線を引く、参考資料を持参できるようにする <復習>Googleclassroomに提示された課題に取り組む	210分
第3回	テーマ 内容	3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育①出生から6か月、②0歳児クラス	
	授業外指示	<予習>教科書を読み、重要事項に下線を引く CDCや地域において、6か月未満児および0歳児の子どもの姿を知る <復習>子どもの発達について振り返りシートに取り組む	210分
第4回	テーマ 内容	3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育③1歳児クラス	
	授業外指示	<予習>教科書を読み、重要箇所を下線を引く CDCや地域において、1歳児の子どもの姿を知る <復習>子どもの発達について振り返りシートに取り組む	210分
第5回	テーマ 内容	3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育④2歳児クラス 小テスト	
	授業外指示	<予習>教科書を読み、重要箇所を下線を引く CDCや地域において、2歳児の子どもの姿を知る <復習>子どもの発達について振り返りシートに取り組む	210分
第6回	テーマ 内容	発育・発達の特徴をふまえた保育①遊びと環境 乳児の遊び①おもちゃ	
	授業外指示	<予習>自分が子どもの頃に好きだったおもちゃについてまとめる <復習>授業内容を振り返り、CDC等にある実際のおもちゃに触れて気づきをまとめる	210分
第7回	テーマ 内容	乳児の生活①授乳と離乳食	
	授業外指示	<予習>自分が子どもの頃に好きだったおもちゃについてまとめる <復習>授業内容を振り返り、CDC等にある実際のおもちゃに触れて気づきをまとめる	210分
第8回	テーマ 内容	乳児の生活②着脱・排泄・清潔	
	授業外指示	<予習>教科書を読み、重要事項に下線を引く <復習>提示された課題に取り組む	210分
第9回	テーマ 内容	発育・発達の特徴を踏まえた保育②-1抱っこ、おんぶ(講義)	
	授業外指示	<予習>配布資料を読み、重要箇所を下線を引く <復習>授業内容を振り返り、まとめる	210分

第10回	テーマ 内容	発育・発達の特徴を踏まえた保育②-2抱っこ、おんぶ(演習)	
	授業外指示	<予習>抱っこ、おんぶが実際行えるように授業内容を振り返っておく <復習>授業内容を振り返り、まとめる	210分
第11回	テーマ 内容	乳児の遊び②手作りおもちゃプレゼンテーション	
	授業外指示	<予習>教材研究課題(手作りおもちゃ)に取り組む <復習>授業内容を振り返り、まとめる	210分
第12回	テーマ 内容	発育・発達を踏まえた保育③愛着関係	
	授業外指示	<予習>Googleclassroomに提示された課題に取り組む <復習>授業内容を振り返り、まとめる	210分
第13回	テーマ 内容	本授業でのまとめ	
	授業外指示	本授業で学んだことや学生自身の学びの確認をする	210分

課題に対するフィードバックの方法

- ・授業内容、課題などの質問については授業後、又はオフィスアワーにおいて対応する。
- ・提出された課題について、返却時に口頭やプリントにて取り組みの成果と今後の課題についてフィードバックを行う。

2022年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	乳児保育 I		教員氏名	原田 憲子		
科目ナンバー	Ⅲ-6-1-5					
学年	1年		開講学期	前期		
授業形態	講義		単位数	2単位		
必修・選択	保育士必修		実務経験	保育園副園長・幼稚園副園長	17年	
テーマ	保育士に必要とされる乳児保育の知識・技能の基本を身につける					
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○	
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する				
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う				
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける				○
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う				
授業の概要	授業では各テーマに沿って現代における乳児を取り巻く環境について知り、意義や役割について理解する。そして、映像資料や事例検討により具体的な援助方法を学び、グループワークや調べ学習および取り組んだ課題のプレゼンテーションを通して、意見交流をしながら理解を深める。また、保育園副園長・幼稚園副園長の経験から、乳児保育について解説します。					
授業の到達目標	1.3歳未満児の発育・発達をふまえた保育について基礎的な知識を理解し、説明できる。 2.乳児保育の現状と課題への理解を深め、意義と目的を関連づけて述べることができる。 3.保育者として必要な援助の仕方、連携、配慮について理解し、他者と意見交流ができる。					
テキスト	『乳児保育 一子ども・家庭・保育者が紡ぐ営みー〔第2版〕』 入江慶太 教育情報出版					
参考書	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定子ども園教育・保育要領」フレーベル館					
ポートフォリオ	なし					
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を対話を通じて授業内で明確にする				○	
	リアクションペーパーを用いて、授業内での疑問等を対話形式にて対応する				○	
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める					
	ICT(Googleclassroom含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				○	
その他: 分散授業(対面授業7:オンライン授業6【ハイブリッド型・オンデマンド型・自己学習型】)				○		
成績評価方法	区分	割合(%)	内容			
	定期試験	40	筆記試験 40%			
	授業内課題参加度出席態度等	60	授業の取り組み30%、発表レポート・提出物状況30%			
	その他					

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	授業の概要と評価方法の確認 乳児保育の理念と意義①乳児保育とは	
	授業外学習	<予習>シラバスを読む <復習>提示された課題に取り組む	210分
第2回	テーマ 内容	乳児保育の理念と意義②乳児保育の歴史、乳児保育の現状と課題	
	授業外指示	<予習>教科書を読み、重要事項に下線を引く、参考資料を持参できるようにする <復習>Googleclassroomに提示された課題に取り組む	210分
第3回	テーマ 内容	乳児保育の理念と意義③法律、保育所保育指針	
	授業外指示	<予習>教科書、参考資料を読み、重要事項に下線を引く <復習>Googleclassroomに提示された課題に取り組む	210分
第4回	テーマ 内容	3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育①出生から6か月、②0歳児クラス	
	授業外指示	<予習>教科書を読み、重要事項に下線を引く CDCや地域において、6か月未満児および0歳児の子どもの姿を知る <復習>子どもの発達について振り返りシートに取り組む	210分
第5回	テーマ 内容	3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育③1歳児クラス	
	授業外指示	<予習>教科書を読み、重要箇所を下線を引く CDCや地域において、1歳児の子どもの姿を知る <復習>子どもの発達について振り返りシートに取り組む	210分
第6回	テーマ 内容	3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育④2歳児クラス 小テスト	
	授業外指示	<予習>教科書を読み、重要箇所を下線を引く CDCや地域において、2歳児の子どもの姿を知る <復習>子どもの発達について振り返りシートに取り組む	210分
第7回	テーマ 内容	発育・発達の特徴をふまえた保育①遊びと環境	
	授業外指示	<予習>保育施設における環境について調べる <復習>授業内容を振り返り、まとめる	210分
第8回	テーマ 内容	乳児の遊び①おもちゃ 各年齢ごとの乳児の遊びや適したおもちゃについて	
	授業外指示	<予習>自分が子どもの頃に好きだったおもちゃについてまとめる <復習>授業内容を振り返り、CDC等にある実際のおもちゃに触れて気づきをまとめる	210分
第9回	テーマ 内容	乳児の遊び②手作りおもちゃプレゼンテーション	
	授業外指示	<予習>教材研究課題(手作りおもちゃ)に取り組む <復習>授業内容を振り返り、まとめる	210分

第10回	テーマ 内容	発育・発達の特徴をふまえた保育②抱っこ、おんぶ	
	授業外指示	<予習>配布資料を読み、重要箇所を下線を引く <復習>授業内容を振り返り、まとめる	210分
第11回	テーマ 内容	発育・発達を踏まえた保育③愛着関係	
	授業外指示	<予習> Googleclassroomに提示された課題に取り組む <復習> 授業内容を振り返り、まとめる	210分
第12回	テーマ 内容	乳児の生活①授乳と離乳食、②着脱・排泄・清潔	
	授業外指示	<予習>教科書を読み、重要事項に下線を引く <復習>提示された課題に取り組む	210分
第13回	テーマ 内容	本授業でのまとめ	
	授業外指示	本授業で学んだことや学生自身の学びの確認をする	210分

課題に対するフィードバックの方法

- ・授業内容、課題などの質問については授業後、又はオフィスアワーにおいて対応する。
- ・提出された課題について、返却時に口頭やプリントにて取り組みの成果と今後の課題についてフィードバックを行う。